

第4回 学習活動の基礎的知識(1) 問題意識から研究課題へ

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozemi/>
- ゼミに関する書籍などの情報もあります。

前回の復習（宿題の確認）

1. 前回宣言した「2つの工夫」をした実際のノートを紹介する
 - どの科目でもよいので、実際にどの程度工夫ができたかを説明
 - 各自のノートを持ち寄って、情報交換してみましょう
2. 近所の公立図書館について説明する
 - 図書館の名前、場所（おおかまに；「〇〇県〇〇市」程度）
 - 図書館の雰囲気、特徴・特色、貸出冊数、利用の条件など

発想を“見える化”して広げる

大学の図書館と公立の図書館とでは、どんな違いがあるでしょうか。

それぞれの図書館の特徴などを、思いつくままにリストアップしてみましょう。発想を広げたり、考えを整理したり、系統だてて考えるときに使うことができる、発想方法を利用してみましょう。

マインドマップ

色やイラストを取り入れながら、頭の中のイメージを紙の上に表現する思考技術に、「マインドマップ」があります。

マインドマップのポイントは、1つのテーマについて連想して思い浮かんだことを、短い言葉や絵でそのまま紙に書きだして、枝が放射状に伸びていくように、次々と広げていくことです。

いくつかのマインドマップを描いてみて、特定のテーマについて発想を広げたり整理してみましょう。

1. 多色ペン（色鉛筆やボールペンも可）と横長の大きめの紙（A4サイズ以上）を用意する。
2. 紙の真ん中に、テーマを代表するようなイメージやキーワードを描く。色は3色以上使う。
3. 真ん中のイメージから太い枝を伸ばすように何本か描く。それぞれの枝には真ん中のイメージから連想されるキーワードやイメージを1つ描く
4. 伸ばした太い枝の先から、さらに枝を何本か伸ばす。元の枝のイメージに関連するキーワードやイメージを自由に描く。枝の先から新たな枝をつなげて伸ばしながら、木の枝のようにのびのびと広げていく。伸ばすたびに枝はだんだん細くなる。
5. 離れた枝にあるイメージがお互いに関連があるようなら、線でつないだり、ひとまとまりの枝を枠（雲型）で囲む。

参考文献

- トニー・ブザン、バリー・ブザン著、神田昌典訳「ザ・マインドマップ」、ダイヤモンド社（2005.11）。
- 森時彦、ファシリテーターの道具研究会「ファシリテーターの道具箱」、ダイヤモンド社（2008.03）。
- 石井力重「アイデア・スイッチ」、日本実業出版社（2009.07）。

資料収集

資料の種類

- 参考図書(レファレンス・ブック)
 - 辞書、事典、百科事典、年間、統計資料、白書、文献目録など
 - 学問全般について知りたい場合は、事典類(百科事典、分野別の事典)が役立つ
- 新聞
 - 一般紙(全国紙:毎日、読売、朝日、産経、日本経済、地方紙:神戸新聞など)
 - スポーツ紙・レジャー紙(日刊スポーツ、サンケイスポーツなど)
 - 専門誌、業界紙、機関紙、広報紙
 - 比較的新鮮な情報を入手することができるが、情報が断片的な場合がある
- 図書 / 単行本:参考図書でも雑誌でもない図書
 - 文庫本、新書、専門書など
 - 特定分野の知識が体系的にまとまっている
 - そのかわり、できあがるのに時間がかかるために情報が古い場合も
 - 一次資料:オリジナルな内容を伝える資料
 - 二次資料:オリジナルな情報に基づいて書かれた資料(年鑑、索引、蔵書目録も含む)
- 雑誌、逐次刊行物(定期刊行物)
 - 一般雑誌(月刊誌、週刊誌など)
 - 学術雑誌(学術雑誌、論文誌、講演論文集、学術定期刊行物など)
 - 一般にいう雑誌よりも意味が広い
 - 特定分野の現状や新しい情報について、詳しい情報が得られて、内容もコンパクト
 - そのかわり、前提知識がないと、内容が読み解けない場合も
- CD-ROM、DVD-ROM(パソコンで利用)
 - 辞書、事典などを電子化(音声、画像、動画によって表現力が豊か)
 - 資料のデータベース(新聞記事などを電子化、検索の工夫が必要)
- インターネット上の情報(いつでも書き換えられてしまう、再検証にくい)
 - マスコミのサイト(新聞やテレビなど報道機関)
 - 行政(政府や自治体)、企業・各種団体のサイト
 - フリーの百科事典(Wikipediaなど)、まとめサイト、個人のサイト(日記、ブログなど)

資料としての情報の鮮度・信頼性

- 鮮 度:インターネット > 新聞 > 学術雑誌 > 図書 > 参考図書
 - インターネットは情報をすぐに公開することができる
- 信頼性:インターネット < 新聞 < 学術雑誌 < 図書 参考図書
 - できあがるまでに多くの人や専門家によるチェックがあるほど、信頼性が高い

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 改訂版」, くろしお出版 (2006.10)
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」, 専修大学出版局 (2006.04).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).